

8-4-41 品質向上専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動の目的

品質の確保・向上について、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

(2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

(3) 品質セミナーへの参加

- ・開催時期：令和2年11月19日～28日
 - ・開催地：オンライン形式（ビデオ配信）
 - ・主催：技術部会/品質委員会
 - ・参加者：全体で1,784名（内135名は発注者）
- 当委員会のプログラムは、第2講「国土交通省品質確保対策への対応」第3講「品質向上ガイドライン活用ツール」第4講「コロナ過をチャンスに変える～品質管理の工夫～」とし、各30分及び60分の講演を行った。

(4) セミナーの評価（アンケート結果より）

セミナー参加者へのアンケートでは、発表内容は「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が98%（昨年度99%）、講師の説明は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が98%（昨年度98%）と、昨年同様高い評価となっている。この評価は、ヒアリングで得た具体の事例に重点を置いた内容と、事前の準備に時間を割いた結果と考える。

自由意見では、下記のa)、b)や実務に直結する身近な事例がわかり易いという意見が多くあった一方、より掘り下げた内容を望む意見もあった。

- a) これまでのエラー事例の活用を含めて作成された活用ツールは大変興味深い内容でした。エラーの発生が段階毎体系的に整理されており、実務で使ってみたいと思います。
- b) 弊社もコロナ対策でテレワークを実施したが、問題点等が共感できる事項が多く、改善点

もなるほどと大変に参考になった。

(5) 品質講習会の開催

協会会員向けに以下の講習会を開催した。

- ・開催日：令和4年2月17日（木）
 - ・場所：Zoom ウェビナーによるライブ配信
 - ・講師：二宮 利江氏（東北大学大学院工学研究科 研究員）
 - ・テーマ：生産性向上に関するマインドセットを学ぶ～しなやかさを科学する～
- 二宮 利江氏（東北大学大学院）をお招きし、「生産性向上に関するマインドセットを学ぶ」ということをテーマに、120分の講義を実施した。当日の参加者は事務局含め約350名。一般視聴者から18、委員から7の質問に対して回答を頂き、活発な意見交換が行われた。マインドセットという聞きなれない単語であったが、マインドセットがしなやかであることが生産性向上や品質確保に重要であることを認識した。

(6) 品質向上施策の改善提案

業務スケジュール管理表や条件明示チェックシートなどの品質確保策に対して、施策の効果などに関するアンケートを実施した。結果は、整理・分析し、今後の改善点を提案した。

(7) 品質向上推進ガイドラインの改定作業

平成23年度発行の品質向上推進ガイドラインについて、一層効果的に活用するためのツールとして、「リスクと対応の確認ツール」と「照査ツール」を作成し令和3年7月に協会HPにて公表した。

2. 次年度の活動

令和4年度は、多様化する働き方の中で会員企業における品質管理や若手技術者の育成を中心に、日々の業務執行での工夫や悩みなどをアンケートとヒアリングで調査し、品質向上との関連性を分析の上、とりまとめて令和4年度品質セミナー（10月開催）での発表を予定している。

また、次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、さらに品質向上推進ガイドライン（増補版）の普及や品質向上に関する講習会の実施を検討する。

（品質向上専門委員会委員長 青木 毅）